

台湾観光庁による2023年の 台湾観光プロモーション活動

台湾観光庁東京事務所 所長 鄭憶萍

私ども台湾観光庁東京事務所で2023年に実施した台湾観光プロモーション活動より、主な台湾観光イベントの一部、5月に原宿で実施した「台遊館」及び10月に台湾で開催された「合同天燈特別観光イベント」の様子をご報告致します。

五感を刺激する台湾観光体験プロモーションイベント

台湾への渡航が制限されてきた期間においても、観光渡航再開後には台湾旅行を選択してもらうための活動として、オンライン講座や、オンラインツアーをはじめ、在日台湾企業やレストラン、ホテルほか異業種とコラボしたジョイントプロモーション、そして、厳しい感染防止対策下においても可能な条件でリアルな観光PRイベントなども実施してきました。

私達はこれまで経験したことのない環境下での多方面における諸活動を通じて、コロナ禍においても台湾への旅行に関心をもつ潜在的な訪台観光客のポテンシャルを常に強く感じ続けてきました。今年に入り、制限のない現場でのリアルな観光プロモーション活動が可能となったことに合わせて、既に復便を果たしている主要空港以外の各地方空港発着による台湾定期路線の復便が続いたこと等もきっかけとして、各地において定期便再開を祝した台湾観光促進イベントや当地セミナー等も各地方空港や自治体との協力で開催して、台湾旅行への推進活動を展開してまいりました。

5月には「台遊館」と銘打った総合的な台湾観光プロモーションイベントを東京の原宿駅前にオープンした「With Harajuku」にて開催しました。台湾からの観光代表団と共に招聘したパ

フォーマンスチームのステージを筆頭に、渡航再開後に台湾取材やロケを行った雑誌やテレビ番組のタレントさんや記者、編集担当者やインフルエンサーを招いて、女子旅、鉄道旅、美食の旅、文化の旅などテーマに分けたトークショーを企画し、各回100名様迄の予約制を敷いて募集をかけたところ、開催初日までには各回満席となり多岐の目的で旅を楽しめる台湾の魅力を効果的にアピールすることができました。

ジャンルごとに構成し各エリアに分類したイベント会場では、台湾オリジナルDIY体験や、台湾系航空会社、台湾ツアー企画旅行会社の情報案内エリアを用意したほか、選りすぐりの台湾ブランドや人気のショップを招聘して、台湾グルメやスイーツ、ドリンク、台湾コスメにグッズなどの台湾物産即売などのコーナーも設けて、ジャンルを広げたプロモーションを展開し、安心、安全で気軽に旅立てる台湾のマルチな魅力を全面に打ち出しました。

台湾観光庁では、今後も日本各地での台湾観光プロモーションイベントの開催を通じて、来場者



2023年5月に原宿駅や新宿駅、渋谷駅などでPR告知した台湾観光プロモーション「台遊館」のキービジュアル

に台湾の旅行環境などのリアルな現状を伝え、台湾ならではのDIYやゲーム、クイズ体験、台湾旅行に便利でお得な抽選イベント、そして台湾美食の食文化体験など、五感で台湾旅行の魅力に触れていただけるような誘致イベントを展開していこうと考えています。新たに登場している台湾観光スポットや施設、郷土文化あふれる地方観光の魅力や、台湾ならではのイベント、日本人観光客が訪れることの少ない自然豊かな景勝地など、「台



かわいらしいカラフルな提灯で装飾された物販エリア



ステージでは、台湾から訪日した20社を超える各地の観光代表団による楽しいクイズ大会なども開催



旅行情報案内エリアでは、感染症5類への移行後間もないタイミングだったこともあり、渡航再開後の台湾旅行環境について尋ねる人が旅行情報案内エリアに多数訪れていた。



台湾DIY体験では、LEDで楽しむ台湾かき氷プレートなどを提供

湾旅行に新たに求めていること」への要求を満たせるような素材を体感してもらいながら、台湾旅行に向けてのきっかけづくりを継続して提供していけるよう努めていきたいと考えています。

1000の願いが台湾の夜空に放たれた合同天燈特別観光イベント

「観光再開を印象づけるようなインパクトを打ち出せる旅行イベントを台湾で開催できないか？」

台湾観光庁もメンバーとして参加する一般社団法人日本旅行業協会が組織したアウトバウンド促進協議会（JOTC）台湾ワーキンググループが今春に開催した会議の席上において冒頭の提案が挙げられました。日本において新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが引き下げられていくことが目前に迫ってきた時期を見据えて、海外旅行・台湾旅行などレジャーマーケットの回復を促進するために、5類感染症移行後の訪台市場に向けた機運熟成を示すためのイベントを掲げることで、ベクトルを同じ方向に向けて取り組もうとの議論が会議で交わされました。この会議をきっかけに、日本そして台湾において数回におよぶ検討を重ねた結果、以前より観光体験プログラムとして好評を得ている「天燈上げ（スカイランタン）」を、特別観光イベントとして用意し、各旅行会社による同イベント参加を加えたツアー造成を行い、集客促進していくことを決定しました。同イベントツアーに向けて、開催会場、運営環境の負担などを考慮し、最少催行人員を200名以上に設定、さらに1社単独で200名以上の集客を確約できる場合

は、単独開催日を設けることも可能であることも示唆しました。

イベントツアーの造成に関しては、JTBやHIS、阪急交通社などの主力旅行会社11社が参画することを表明し、正式に台湾観光庁と日本旅行業協会コラボによる特別観光イベントの開催告知に向けた特設サイトの開設や、プレスリリースの配信などを行い、合わせて各社のツアー募集も順次公開していくこととなりました。

盛夏を迎える頃には「合同天燈上げ特別観光イベント」と冠した周遊型から個人フリープランのツアーに至るまで各社の特性を最大限に活用した多様な旅行商品がラインナップして販売がスタートしました。当初は500名での催行を予定して準備を進めていた同企画は、各社それぞれの効果的な販売戦略などをもって徐々に予約人数が増加し、最終調整受付時には開催2日間で1000名以上の集客という予想を超える成果を遂げることができました。



合同天燈上げ特別観光イベント特設サイト

そして、台湾観光庁と日本旅行業協会による合同天燈上げ特別イベントは、2023年10月21日（土）と22日（日）の2日間で開催され、成功裏に終了しました。北は北海道、南は沖縄県宮古島まで日本全国から参加した幅広い世代のお客様がイベント会場となった台湾の新北市平溪区の会場集結。開幕式典として台湾観光庁と日本旅行業協会ほか代表関係者等による日台のさらなる友好、台湾旅行の回復を祈念して用意した大型天燈が打ち上げられると、会場内から大きな歓声が沸き起

こりました。

さらに、各ツアー参加者がそれぞれの願いを託した天燈にも火が灯され、無数の天燈が一齐に空に放たれる幻想的で息をのむ美しい光景に一同大変魅了されていた様子でした。

このように、テーマを掲げ台湾でしか体験できない特別イベントの開催を旅行会社各社と連携していくことで旅行商品の価値を高め、また効果的な集客にも繋がることを私達も改めて体感いたしました。

新型コロナウイルスの影響による長い観光渡航制限により、2022年の台日交流人数は約42万人まで減少。本年に入り10月までの日本人訪台者数は渡航制限前のボリュームに比べて50%程度までたどり着いたところですが、台湾からの訪日旅客は単月だと100%以上の回復率と好調です。日本からの海外旅行市場に関しては、燃油高騰や円安による影響などの懸念要素も多々語られてきていますが、台湾に関してはツアー旅客に加えて



開幕式初日に、末永い台日友好を祈願するメッセージを記したビッグ天燈が用意された
(左から台湾観光庁国際部・黄部長、日本旅行業協会・西尾参与、台湾観光庁・林次長、日本旅行業協会・蝦名理事長、日台観光促進協会・田ヶ原理事長、日本台湾交流協会・柏木主任)



初日は550名の来場者が会場に集結、それぞれの願いを託した



団体旅行や教育旅行市場なども徐々に本格回復に向かう軌道が示されてきている状況で、その対策も着々と進行中です。

台湾観光庁では、日本人訪台観光客の早期回復を促進するため、2024年にも特別イベントの開催をはじめ、需要喚起に向けて新たな取り組みをさらに推進し、訪台旅行市場への機運をさらに高める準備をすすめていきたいと考えています。

台湾観光庁からのお知らせ

台湾観光庁（台湾交通部観光署）への組織改編

台湾の交通部（日本の国土交通省に相当）の組織改編に伴い、2023年9月15日より交通部観光局より交通部観光署に昇格しました。この組織昇格により今後は日本市場に向けて表記してきた名称を台湾観光局（交通部観光局）から、台湾観光庁（交通部観光署）に変更致しました。昇格後の台湾観光庁（台湾観光署）各種業務につきましては、従来の部署を維持しながら、「より多くのより良い業務」を創出していくために鋭意努めてまいります。

台湾観光史の新たな1歩を踏み出す「台湾観光庁（台湾観光署）」へのさらなるご支援、ご尽力のほどよろしくお願い申し上げます。

2023台日観光サミットin愛知

「台日観光サミット」は台日双方の交流人口拡大を目標として、2008年から台湾と日本の双方



2023台日観光サミットin愛知

で毎年開催地を交互に変えながら開催されています。

第14回目の今年は9月7日から9月10日の4日間、愛知県で開催されました。今回は台日観光交流の早期回復を目指す記念すべき会議となりました。

コロナ禍を経て観光業界が直面する様々な課題の解決について議論が交わされ、台日の緊密な連携と持続可能な観光の実現を目指し、2025年までに相互訪問者数700万人の回復を目標とする「愛知宣言」を発表しました。

なお、来年2024年の台日観光サミットは台湾の高雄で開催されます。

訪台個人旅行応援キャンペーン

訪台個人旅行応援キャンペーンを2023年5月より実施しております。抽選で5,000元分の電子マネーかホテルバウチャーが当選するキャンペーンです。

台湾到着の7日前～1日(24時間)前までに専用ページから必要事項を登録すると、メールアドレスにQRコードが送信されます。台湾到着後、空港の到着ロビーに設置されたキャンペーンカウンターでQRコードを端末に読み込ませると抽選できます。

2025年6月30日まで実施しておりますので、ぜひチャレンジしてみませんか。

<抽選キャンペーン公式サイト>

https://5000.taiwan.net.tw/index_jp.html



台湾観光プロモーションビデオ「ビビビビ!台湾!さあ、好奇心の旅へ。」

6月23日、台湾観光プロモーションビデオ「ビビビビ!台湾!さあ、好奇心の旅へ。」を発表しました。



グルメ、文化、自然、アクティビティなど、各ジャンルにおける新たな台湾の魅力を伝える内容となっています。映像には、川口春奈さんが台北、台中、高雄を訪れ、テンションが上がっていく様子やワクワクした表情が映し出されています。

日本の皆さんに映像を通じて、台湾での忘れられない景色や味を思い出していただきながら、さらに新鮮な台湾の新しい旅スタイルを、ぜひご自身で体験していただきたいとの思いが込められています。

「ビビビビ!」とは台湾に来ると誰でも「好奇心レーダー」が解き放たれ、「ビビビビ!」とレーダーが鳴り響く様子を表現しています。また、「ビ」は日本語の「美」とも一致しており、台湾ならではの「美景(景色の良さ)」、「美人(人の良さ)」、「美食(食の良さ)」そして「美質(質の良さ)」を感じていただきたいと思います。

こちらのプロモーションビデオはテレビCM、屋外電子看板、ソーシャルメディア、駅広告など、全国の様々な媒体で積極的に発信すると同時に、





川口春奈さんのYouTubeチャンネル、イベント、SNS、口コミマーケティングなど、イメージキャラクターやインフルエンサーの影響力を利用して、今後も様々な広報PRを展開していきます。<「ビビビビ！台湾！さあ、好奇心の旅へ。」プロモーションビデオ特設サイト>

<https://www.youtube.com/watch?v=EX3E9eeUKJk>

メディア・インフルエンサーコラボ企画

台湾観光庁では、幅広い世代や様々なニーズにリーチしていくことを主眼において、テレビや雑誌、WEBサイトや動画、SNSなどのあらゆる配信ツールを駆使し、360度全方面でフルに活用するためのメディアプロモーションに対しても積極的に取り組んでいます。

マガジンハウス社「Hanako」は台湾への渡航が再開して間もなく女性誌として一番乗りで台湾取材を行い、再開後の台湾最新情報を同誌の目線から紹介。そして、12月14日にはさらに本領を

発揮して現地取材に協力、こだわりのHanakoムックを発売しました。

小学館「サライ」誌での取材協力では、来年は建城400周年を迎える古都台南を中心に各分野のベテラン作家やライターによってとことん深掘りした台湾をまるごと紹介する重厚な特集として発売を予定しています。

カメラ女子向けサイト「camell」とのコラボ企画ではカメラ女子が台北・台南・高雄でフォトジェニックな観光スポットを巡り、台湾にカメラを持って旅をした様子がレポートされており、カメラ女子ならではの視点で撮影された写真スポットをお楽しみいただけます。皆さんもぜひ台湾でお気に入りの一枚を撮影してみてください。

<「camell」写真の聖地 台湾>

<https://www.camera-girls.net/taiwan/>

「しおりのなんとなく日常」チャンネルでグルメ系ユーチューバーとして人気のしおりさんが、台湾総統府に一泊した様子がアップされております。同イベントは公募で選ばれた各国のインフルエンサー10組が参加しました。総統府の内部が撮影されて、普段の観光とは一味違った体験が見られる特別企画です。

<「しおりのなんとなく日常」台湾政府に呼び出されたので急遽台湾に行ってきました。>

<https://www.youtube.com/watch?v=WGfmpHcKMO4>

サイクリストユーチューバー「けんたさん」が自転車旅を通じ、地域の魅力を紹介する人気のチャンネルが、初の海外自転車旅として今年の5月に台北から東北角方面を訪問し、等身大のテンションで台湾を自転車旅という新たな視点から楽しく軽快に紹介しております。映像を見ているうちに一緒に旅しているような臨場感あふれる展開にわくわく感がとまらなくなります。自転車ならではのスピード感で眺めた台湾の風景をぜひお楽しみください。

なお、11月には台湾一周にチャレンジされ、2024年1月より順次公開されます。こちらも乞うご期待ください。

<「ディスカバーライド」けんたさんが行く！台

湾・東北角2泊3日の旅>

<https://discover-ride.com/taiwan-tohoku/>

山と渓谷社が運営するYouTubeチャンネル山溪netにて「オトナ女子の山登り」の山ガールユーザーの山下舞弓さんと登る台北最高峰・七星山（1120m）の気軽な登山を現在紹介中です。来月には同時期に登頂成功した玉山登山の様子も紹介予定です。富士山よりも高い玉山の美しい山岳の風景をお楽しみください（協力：台湾観光庁/中華民国山岳協会）

<山と渓谷ch>

<https://www.youtube.com/@yamakeichannel>

2024台湾ランタンフェスティバルin台南

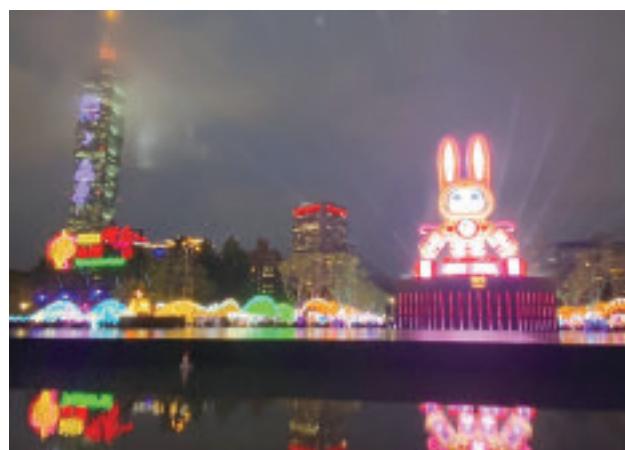
台湾観光庁（交通部観光署）では台湾旅行のイメージを世界に広くアピールし、より多くの外国人旅行者へ台湾旅行に興味をもってもらい、さらに観光による外貨収入をアップさせるため伝統文化と現代技術の融合といった理念に基づき、台湾ランタンフェスティバルを開催しています。

元宵節にランタンを持ち歩く風習は、元々伝統的な行事の一つでした。

開催会場となる地域の風土とハイテクノロジーを融合させ、今では国際的な観光イベントとして盛り上がりを見せています。ランタンフェスティバルのメインである巨大なメインランタンは毎年、工夫がされた様々な演出が注目を集めています。

さらに、会場では国内外のチームが素晴らしいパフォーマンスを次々と繰り広げ、来訪者たちに好評を博しています。

また、第35回を迎える2024年の台湾ランタンフェスティバルは2月24日に開幕式が行われ、台湾高速鉄道台南駅周辺エリアで2月24日～3月10日、安平エリアでは2月3日～3月10日の期間、建城400年を迎える台南で開催されます。歴史的なスポットやレトロな街並みが多く残る古都での光の祭典へ、皆様のお越しをお待ちしております。



「2023年台湾ランタンフェスティバルin台北」の様相



干支のウサギをモチーフとしたメインランタン